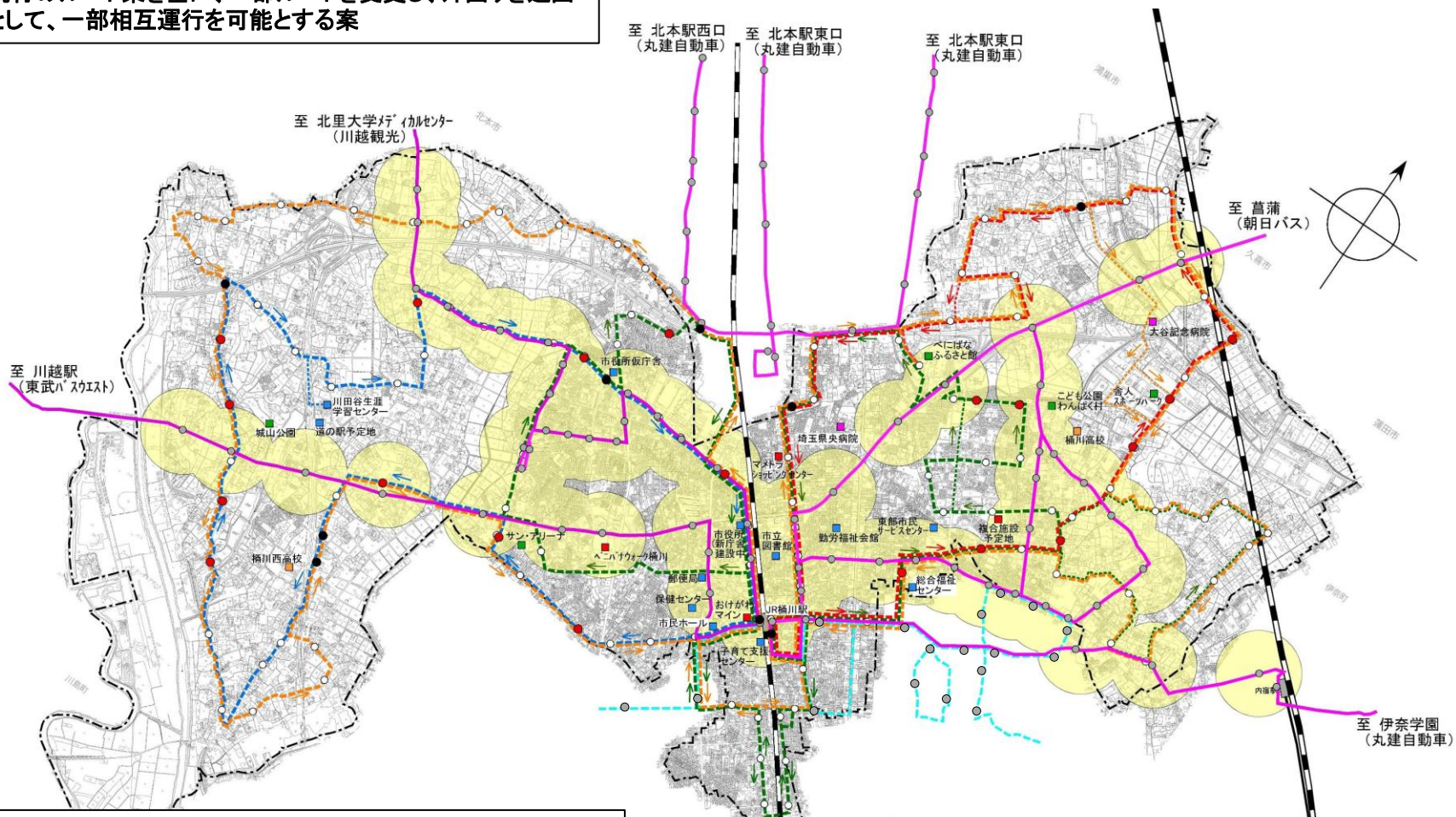


ルート案1

現行のルート案を基に、一部ルートを変更し、外回りを逆回りとして、一部相互運行を可能とする案



メリット

○現行ルートを基本とし、ルートに大きな変更がないことから、現利用者への影響が少ない。

○路線が重複しているところは相互運行が実現する。

デメリット

○ルートの具体化に際し、公共施設等へのアクセスを確保(寄り道)するルートの調整をした場合には、ルート延長が拡大し、所要時間も現状よりも長くなる可能性が高い。

○運行方向を逆にすることで、駅への到達時間などが遅くなるなど、サービス低下が生じることがある。

○路線が重複しているところは、逆方向を設けた分ももとの方向の本数が少なくなる。